山根六角塔

6枚の板碑が6角形の台石の上に立って6角の筒形をなしており、上には6角形の笠石が乗せられています。高さは約115㎝で、残念なことに本来6枚あるはずの内の1枚が、いつの頃からか紛失したままとなっています。

昭和6年、埼玉県指定文化財となりましたが、当時はまだ山根村であったことから「山根六角塔」の名称となりました。

《一口メモ②》

●一本松の碩布の句碑〔町指定文化財〕

川村碩布は、江戸時代の中頃、毛呂郷馬場村（現在の大字毛呂本郷）の名主の家に生まれました。春秋庵加舎白雄に俳諧を学び、ついには三世春秋庵と称するまでの大家となります。

「色かえぬ かはりやまつに 秋の声」と碑面に刻まれた句は、紅葉狩りの帰り道すがら、当時ここにあった老松の松籟（松を吹く風の音）を耳にしての即吟といわれている句ですが、この句を後年になって無窮庵太魯が句碑として建立したものです。

●嘉元の板碑〔町指定文化財〕

全長約3m40㎝。町を代表するこの大型板碑は、嘉元四年（1306年）の銘が刻まれていることから「嘉元の板碑」と呼ばれています。長い年月、風雪に耐えてきたことを物語るかのように、現在に至っては判読が難しくなった文字も多くなりました。

嘉元の板碑のある地域は、もともと宝福寺があったという伝承がありますが、定かではありません。

～文化財散策モデルコース～

（約13㎞・所要時間徒歩約5～6時間）

ＪＲ八高線毛呂駅 → 図書館（月曜休館・トイレあり） → みたらせ池 → 出雲伊波比神社（トイレあり） → 柳構の馬頭観音と地蔵菩薩 → 一本松の碩布の句碑 → 嘉元の板碑 → 住吉四所神社 → 西ノ前の地蔵菩薩 → 滝田の石橋供養塔 → 毛呂山総合公園（トイレあり） → 宿谷の滝入り口（トイレあり） → 宿谷の滝 → 宿谷の滝上公園（ごみ箱・トイレはありません） → 宿谷の地蔵尊 → 山根六角塔 → 六角の巡拝塔 → 大谷木農村公園（トイレあり） → 石原ケ谷戸の馬頭尊 → 山根神社 → 宝福寺 → 長栄寺 → 毛呂氏の墓 → 毛呂氏館跡 → 毛呂駅